

I 方向性に関する説明

1 令和3年度に示した方向性2案に、令和4年度 池田町行財改革推進委員会から提案された方法も加え、次の3案の中から決定致します。

- (1) 現地建て替え（浸水被害への防災対策として2階に垂直避難することを可能とするため、2階建てを一つの案として想定）（約7億円）
- (2) 池田保育園に統合（敷地を拡げ、建物を増築する案を想定）（約4億円）（金額内訳 P9）
- (3) 園児数の動向を見極めつつ、保育園の統合も視野に入れ 10年後を目途に保育園の再編について検討。その間、会染保育園の建物は必要最低限の改修（1億円程度）を行う。（令和4年度 池田町行財改革推進委員会から示された方向性）

町が示した2案に
行財政改革推進委員会提案の案を加えた3案の中から、
R5年度中に方向性を決定
目標：令和8年度4月より新しい環境で園生活をスタートする

2 令和4年度 池田町行財改革推進委員会から示された方向性の内容

※行財改革推進委員会答申より抜粋

保育園【問題点】

- ① 会染保育園の改修・改築については、(a)大規模な増築が必要な池田保育園との統合案（4億円程度）、(b)現地建替え案（7億円程度）の2択しか示されていない。
- ② 一方、少子化が急速に進む中、種々の少子化対策は講じられているものの、その効果については不透明感がぬぐえず、顕著な改善が見られないケースでは、7～8年後には保育園児数は現在の6割程度まで落ち込む可能性も十分にある。その場合、例えば、池田保育園を大規模に増築しなくても、両園を統合することも可能になる。
- ③ 財政状況の厳しさが増すとともに少子化が進む中、保育園の持つ地域での教育的機能やコミュニティの中心としての役割をどう守るかについて、行政・議会・町民の合意が形成されていない。

【対応策】

- ① 池田町における保育園児数の動向を見極めつつ、保育園の統合も視野【対応策】
- ② 池田町における保育園児数の動向を見極めつつ、保育園の統合も視野に入れて、10年後を目途に改めて保育園の再編について検討を行う。
- ③ それまでの間、会染保育園の建物については園児の安全な保育環境のために必要となる最低限の改修（1億円程度）に留める。
- ④ 保育園・小学校は、子育てに関わる中核施設であるだけでなく、地域の連携を図る役割を担っていることを念頭に置きつつ、子育て支援の強化など有効な少子化対策を講じる。

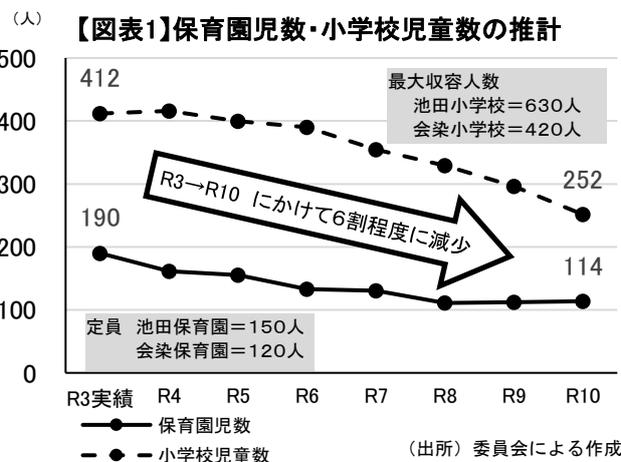
Q 保育園や小学校を現在地で改修、10年後に見直しの提案をしたのはなぜですか

A 町は、保育園については現地建替（7億円）または池田保育園との増設統合（4億円）の2案を提示していました。しかし、2案のいずれも多額の費用を必要とする一方、今後の人口の推移に十分留意しているとは言えない問題があります。

実際、池田町の出生者数はここ数年激減し、園児・児童数が7、8年後には現在の6割程度になるとの推計も示され、統合も視野に入れなければならない可能性もあります。（【図表1】）

そのため、当面、保育園・小学校は、現在地で必要最低限の改修で存続し、10年後を目処に改めて再編策を検討することが最も現実的な方向であると結論づけました。

当然ながら、その間は、子育て支援策に力を入れ、少子化に歯止めをかける必要があります。



II 保育園の現状

1 人口及び保育園入園数の推計

国立社会保障人口問題研究所算出の市町村別年齢別将来推計人口を基に、R元年度からR4年度までの入園率により算出（P6-7）

2 未満児の入園率増加

入園率（年齢別人口に対する入園児の割合）%

年度	0歳	1歳	2歳
H30	5.9	15.0	28.8
H31	7.1	37.5	41.9
R2	4.2	27.3	42.9
R3	4.0	36.7	44.1
R4	3.7	38.5	54.9

3 保育士不足

(1) 池田町の状況

現年度、年度の途中で保育士の離職、療養休暇があっても補充が出来ず、R5年度は運営に必要な保育士を確保することが困難で、民間会社から保育士派遣を受ける予定。

(2) 全国の状況

全国的に保育士が不足している。以下厚生労働省の資料より。

- ① H25年度の新規求人倍率を見ると、9割超の都道府県において1倍を超えている。
H26年1月時点で保育士の有効求人倍率は全国平均で1.74倍。
- ② 指定保育士養成施設卒業者のうち、約半数は保育所に就職していない。
(H24年度 就業先保育園 51.7%)
- ③ 資格保有者でハローワーク求職者のうち約半数は保育士としての就業を希望していない。(H25年度保育士としての就業を希望しない 48.5%)

(3) 県内の状況

(県・市町村会 専門職員の確保プロジェクトチーム「保育士部会」資料より)

- ① 採用人数が募集人数に満たなかった
正規職員 R元 7.4% ⇒ R3 18.1%
非正規職員 R元 24.2% ⇒ R3 30.2%
※特に、市部から離れた町村で顕著
- ② 離職する年代 (R元～R3年度平均) は定年退職を除くと20～30代が多い
離職率 20代 26.9% 30代 20.4% 定年退職 28.8%
- ③ 不足となる理由 (各市町村からの回答抜粋)
 - ・ 3歳未満児入園率増、特性のある児童増による必要な保育士数の増加
 - ・ 待遇面 ・ 保育業務の大変さ ・ 人間関係
 - ・ 通勤の不便さ ・ 特に正規職員の育児休業中の有期職員の確保が困難

4 保育士不足の課題に対する他市町村の取り組みの状況

(1) 小規模保育事業者 (3歳未満児 定員19人以下) の導入

塩尻市 R5年度設置費用補助として国県補助に上乗せして1園につき500万円支給

- (2) 待遇面改善 塩尻市 R5年度 保育士1人につき月1,500円手当を支給
- (3) 休園 信濃町 R5年度 3園の内1園を休園

保育園別入園数推移及び今後の推計

◇入園数実績

年齢	平成23年度				平成26年度			平成29年度			令和4年度		
	池田南	池田北	会染	合計	池田	会染	合計	池田	会染	合計	池田	会染	合計
5歳児	13	23	32	68	32	35	67	32	29	61	25	23	48
4歳児	16	21	37	74	32	34	66	23	38	61	28	20	48
3歳児	17	25	25	67	32	26	58	35	28	63	17	17	34
2歳児	3	7	10	20	6	10	16	16	13	29	16	12	28
1歳児	3	2	2	7	12	11	23	14	4	18	5	5	10
0歳児	4	0	1	5	7	3	10	0	3	3	1	0	1
計	56	78	107	241	121	119	240	120	115	235	92	77	169

令和1～4年度 小学校区毎入園率平均		
池田	会染	全体
97.6%	89.5%	93.6%
94.8%	91.9%	93.4%
92.4%	91.6%	92.0%
54.5%	38.4%	46.5%
30.2%	39.2%	34.7%
3.1%	6.3%	4.7%
62.1%	59.5%	60.8%

入園率は小学校区の人口に対し入園している子の数により算出

◇ 将来の5歳階級別推計人口

(R2年3月改訂池田町人口ビジョン掲載の国立社会保障・人口問題研究所算出人口推計数値)

和暦	H27	R2	R7	R12	R17	R22	R27
総数	9,926	9,418	8,847	8,268	7,676	7,076	6,481
0～4歳	300	273	234	207	189	177	160
5～9歳	359	330	303	260	231	211	199
10～14歳	449	371	342	314	270	240	220
15～19歳	414	403	333	305	282	242	215
20～24歳	338	314	306	253	231	214	184

15歳未満974人

直近の国勢調査人口

和暦	R2
総数	9,382
0～14歳	930

◇ 年度毎出生数

(年度末住民基本台帳0歳人口)

年度	人数
H22	60
H23	55
H24	62
H25	62
H26	62
H27	57
H28	38
H29	51
H30	28
H31	48
R 2	31
R 3	27

◇ 池田・会染小学校区人口割合

(R1～4年3月31日現在の0歳～5歳人口の小学校区毎の割合の平均)

小学校区	割合
池田	48.2%
会染	51.8%

◇入園推計及び必要なクラス数

★R8年度からは新施設使用

年齢	令和10年度					
	池田		会染		合併	
	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数
5歳児	26	1	25	1	51	2
4歳児	20	1	21	1	41	2
3歳児	20	1	21	1	41	2
2歳児	12	1	9	1	21	1
1歳児	6	1	9	1	15	1
0歳児	1		1		2	1
計	85		86		171	

年齢	令和15年度					
	池田		会染		合併	
	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数
5歳児	23	1	23	1	46	2
4歳児	18	1	19	1	37	2
3歳児	17	1	19	1	36	2
2歳児	10	1	8	1	18	1
1歳児	6	1	8	1	14	1
0歳児	1		1		2	1
計	75		78		153	

令和20年度					
池田		会染		合併	
園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数
21	1	20	1	41	2
17	1	18	1	35	2
16	1	17	1	33	2
9	1	7	1	16	1
5	1	7	1	12	1
1		1		2	1
69		70		139	

保育所保育士配置基準					
園児年齢	乳児	1歳	2歳	3歳	4歳児以上
子ども人数:保育士配置基準人数	3:1	※6:1		20:1	30:1

※但し現在保育園では、1歳児は4:1を目安に保育士を配置している

令和25年度					
池田		会染		合併	
園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数
19	1	19	1	38	2
16	1	16	1	32	2
15	1	16	1	31	2
9	1	7	1	16	1
5	1	7	1	12	1
0		1		1	1
64		66		130	

※1 1歳毎の人口はR2年3月改訂池田町人口ビジョン掲載の国立社会保障・人口問題研究所算出人口推計数値(5歳毎人口)を基に1歳毎同率で算出

※2 入園児童数はR1~4年3月31日現在の0歳~5歳人口の小学校区毎の割合の平均値に令和元年から令和4年度までの池田保育園、会染保育園それぞれの入園率の平均値を掛けて算出

コーホート変化率法による推計

◇入園推計及び必要なクラス数

★R8年度からは新施設使用

年齢	令和10年度					
	池田		会染		合併	
	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数
5歳児	16	1	15	1	31	2
4歳児	15	1	16	1	31	2
3歳児	13	1	14	1	27	2
2歳児	7	1	5	1	12	1
1歳児	3	1	5	1	8	1
0歳児	0		1		1	1
計	54		56		110	

保育所保育士配置基準					
園児年齢	乳児	1歳	2歳	3歳	4歳児以上
子ども人数:保育士配置基準人数	3:1	※6:1		20:1	30:1

※但し現在保育園では、1歳児は4:1を目安に保育士を配置している

※1 「コーホート変化率法」とは、各コーホート(同じ年(又は同じ期間)に生まれた人々の集団)について、過去における実績人口の動勢から「変化率」を求め、それに基づき将来人口を推計する方法。

比較的近い将来の人口であり、変化率の算出基礎となる近い過去に特殊な人口変動がなく、また推計対象となる近い将来にも特殊な人口変動が予想されない場合は、

比較的簡便なこの方法を用いることができる。

基礎となる数値 令和3年及び令和4年4月1日現在住民基本台帳人口、令和元年度及び2年度の女性年齢5歳階級別の出生率

※2 入園児童数はR1～4年3月31日現在の0歳～5歳人口の小中学校区毎の割合の平均値に令和元年から令和4年度までの池田保育園、会染保育園それぞれの入園率の平均値を掛けて算出

会染保育園の方向性による部屋数・定員の想定

保育所保育士配置基準					
園児年齢	乳児	1歳	2歳	3歳	4歳児以上
子ども人数：保育士配置基準人数	3：1	6：1		20：1	30：1

現在の状況

		5歳児	4歳児	3歳児	2歳児	1歳児	0歳児	定員計	延長保育室	病後児保育室	一時保育室	調理室	調乳室・沐浴室	職員室+医務コーナー	リソース室※1	更衣室	遊戯室
池田保	部屋数	2	2	2	1	1			1	1	1	1	1	1	2	1	1
	定員	115			14	14	7	150									
会染保	部屋数	6			1	1				0	0	1	1	1	1	1	1
	定員	95			12	7	6	120									
定員計		210			26	21	13	270									

上記計34

現地建て替え(保育園2園を存続)

		5歳児	4歳児	3歳児	2歳児	1歳児	0歳児	定員計	延長保育室	病後児保育室	一時保育室	調理室	調乳室・沐浴室	職員室+医務コーナー	リソース室	更衣室	遊戯室
部屋数	現在	6			1	1				0	0	1	1	1	1	1	1
	建替	1	1	2	1	1			1			1	各1	1	大1小1	1	1
定員	現在	95			12	7	6	120									
	建替後	80			10	10		100									
池田保との合計		195			24	31		250									

池田保育園へ統合

		5歳児	4歳児	3歳児	2歳児	1歳児	0歳児	定員計	延長保育室	病後児保育室	一時保育室	調理室	調乳室	職員室	リソース室	更衣室	遊戯室
部屋数	現在	2	2	2	1	1			1	1	1	1	1	1	2	1	1
	統合後	2	2	3	2	1	1		1	1	1	1	1	1	3	1	1+小ホール1
定員	現在	115			14	14	7	150									
	統合後	180			24	20	6	230									

上記計26

※「統合案では増築する部分は3歳以上児3部屋とし、利用する年齢はその年のクラス編成によって決める。運動するための小ホールとリソース室を各一部屋設置する。(未満児が利用する施設は沐浴室等部屋以外に用意しなければならない施設が多いため)

※1リソース室・・・障がい等により特別なニーズを必要とする子どもが、教育的サービスを受けるために使用する部屋

R3年度時点算出 会染保育園方向性実施経費一覧

		B 現地建て替え (2階建て)	C 池田保育園統合増築 (別棟建設、スロープでつなげる)
建物面積	建築面積 ※1	997.3㎡	現園舎 1,859.52㎡増築726.68㎡ 計2,586.2㎡
	床面積	1階 931.8㎡ 2階 326.9㎡ 計 1258.7㎡	現園舎 1,626.72㎡増築587.42㎡ 計2,214.14㎡
園舎建設工事費 設計監理費		597,866,000円 (解体工事設計監理費含む)	357,006,000円 (解体工事設計監理費含む)
土地購入見込み額 造成工事費		0円	27,640,000円 (購入希望面積2,000㎡)
仮設園舎建設工事費※2		32,000,000円	0円
既存建物解体工事費		18,000,000円	18,000,000円
合計		647,866,000円	402,646,000円

◇ 建物・・・鉄骨造

※1 建築面積・・・水平投影面積

※2 池田、会染両園児を池田保育園で保育する。池田保育園に仮設園舎を建てる。(3歳以上児部屋3室、トイレ1室)

※ 町が示している財政シュミレーションでは、資材、建築費の高騰も踏まえ提示しています